

## 第 17 回日本コミュニケーション障害学会・学会発表奨励賞、 および 2015 年度研究助成金の贈呈式が行われました

去る 2015 年 5 月 17 日（日）、第 41 回日本コミュニケーション障害学会学術講演会会場（福岡大学）において、定期総会後、第 40 回学術講演会において発表された演題の中から今後の発展性が期待できる優れた演題として選考された第 17 回学会発表奨励賞の贈呈式が行われました（敬称略, 所属は発表時のもの）。受賞者には、賞金として 5 万円が贈呈されました。

荻布優子（横浜市リハビリテーション事業団）、川崎聡大（富山大学人間発達科学部）

児童の Rey 複雑図形テストの尺度構成の検討と書字との関連― 主成分分析結果に基づいた新たな採点法の検討―

酒井奈緒美（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）、森浩一（同）  
吃音のある成人の評価法の開発― 質問紙試案の作成―

また、2015 年度日本コミュニケーション障害学会研究助成金（10 万円）が贈呈されました。

廣瀬綾奈氏（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

「失語のある子どもたちの修学継続における支援ニーズ調査」

来年度の研究助成金公募については、『コミュニケーション障害学』Vol. 32, No. 2（2015 年 8 月刊行）に掲載されています。研究活動に資金的援助を得る機会の少ない職域におられる方々の応募をとくに期待しております。

日本コミュニケーション障害学会・研究推進委員会